Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

いのちとくらしをまもる 防 災 減 災 令和3年4月27日北九州国道事務所

(ろきき) 国道3号黒崎バイパス

春の町ランプと陣原ランプが令和4年度に開通します。

- 国道3号黒崎バイパスは、黒崎駅周辺の国道3号の渋滞を緩和するとともに、北九州都市高速道路と一体となって自動車専用道路ネットワークを形成することにより、北九州都市圏の交通円滑化に資する延長5.8kmの自動車専用道路で、これまでに、東田ランプから陣原ランプ間の延長5.2kmが開通しています。
- 今般、春の町ランプの橋梁下部工工事などが完了したことに伴い、残る 工事工程等を精査した結果、春の町ランプと陣原ランプが令和4年度に開 通する見込みとなりましたので、お知らせいたします。
- 引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

◇ 開通により期待される主な効果

- ▶ 激甚化、頻発化する災害に対する道路ネットワークの機能強化
- ▶ 交通混雑の緩和と交通安全性の向上

【問合せ先】

国土交通省 九州地方整備局 北九州国道事務所

技術副所長 井本 真樹男 工務課長 坂元 仁盲

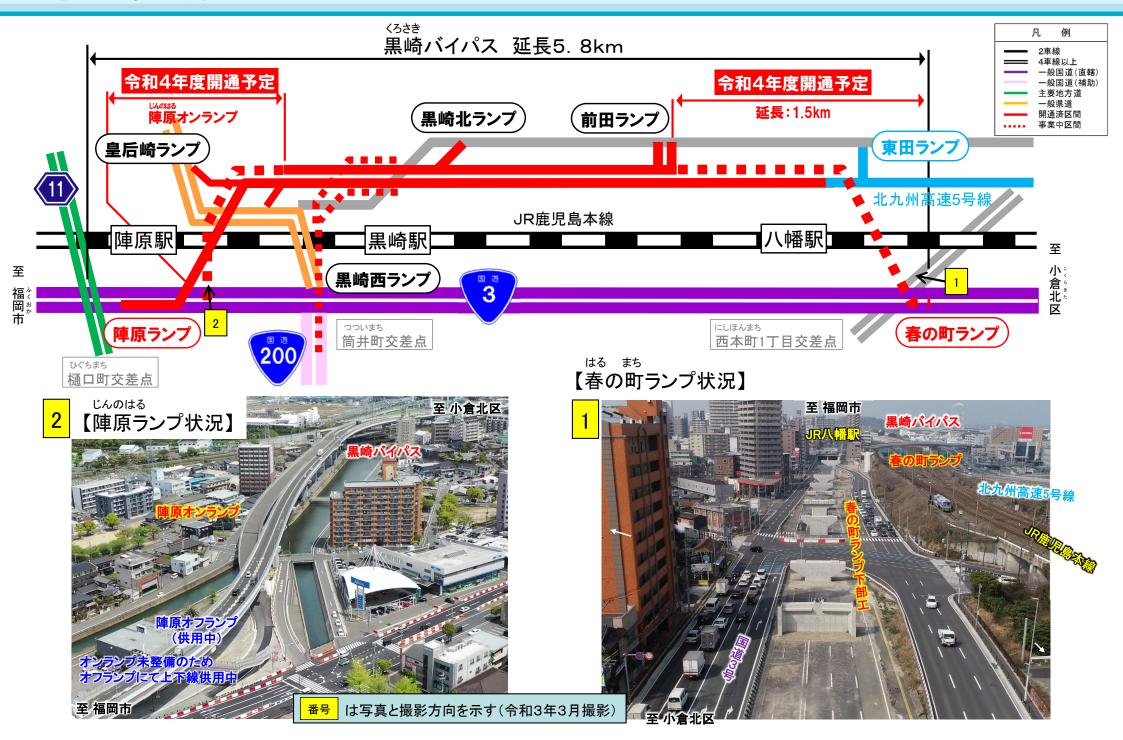
TEL: 093-951-4331(代) URL: http://www.qsr.mlit.go.jp/kitakyu/

国道3号 黒崎バイパス



標準横断図

工事進捗状況



激甚化、頻発化する災害に対する道路ネットワークの機能強化

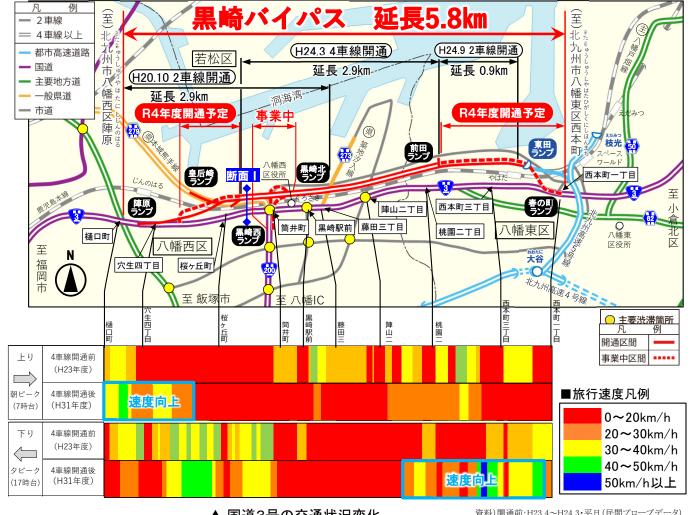
- 国道3号黒崎地区周辺は、これまでに内水被害が発生するなど、豪雨に対する課題が確認されています。
- 〇 過去には、豪雨等の影響により、前田ランプと市道との接続部や国道3号桃園2丁目交差点付近などで 冠水が発生したことで、車両通行に支障が生じています。
- 近年、災害が激甚化、頻発化する中で、これらの災害リスクを回避するためにも、黒崎バイパスの整備による幹線道路ネットワークの機能強化を進めます。



■ 道路冠水の発生状況 北国R003 前田ラン 写真(1) ▲ 黒崎BP前田ランプにおける冠水状況(H25.7) ▲ 国道3号桃園2丁目交差点付近での冠水状況 (H27.8)

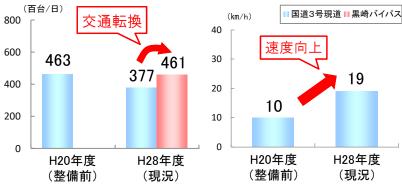
交通混雑の緩和と交通安全性の向上

- 黒崎バイパスのこれまでの開通により、並行する国道3号の交通がバイパスに転換したことで、国道3号の旅行速度は部分的に向上しているものの、依然として混雑時には20km/h以下まで低下しています。
- 春の町ランプ及び陣原ランプが整備されることにより、並行する国道3号のバイパス機能が強化されることで、 バイパスへの更なる交通転換が見込まれ、国道3号の混雑緩和や走行性向上が期待されます。
- また、国道3号の交通がバイパスへ転換することで、交通安全性の向上も期待されます。



▲ 国道3号の交通状況変化

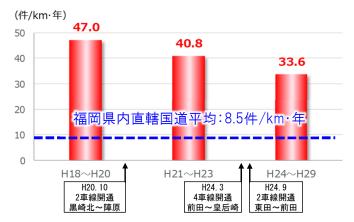
資料) 開通前: H23.4~H24.3・平日 (民間プローブデータ) 開通後: H31.3~R 2 .2・平日 (ETC2.0データ)



▲ 交通量の変化(断面Ⅰ)

▲ 混雑時旅行速度の変化 (国道3号西本町一丁目~樋口町交差点間)

資料:H20(北九州国道事務所調査結果 H20.10)、H28(北九州国道事務所調査結果 H28.7)



▲ 国道3号(並行現道)の1kmあたりの死傷事故件数

(国道3号:西本町一丁目~樋口町)

資料:交通事故統合データベース(H18~H29)